旭農
PTAニュース
編集
発行 北海道旭川農業高等学校PTA事務局

2021年12月23日
（令和３年度）
No.139

クラブ後援会長より

クラブ後援会長　一ツ柳　隆志

令和三年度クラブ後援会長を務めさせて頂いています、一ツ柳隆志と申します。

保護者の皆様方には、日頃より旭農高ＰＴＡ・クラブ後援会活動に多大なるご理解とご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

昨年に引き続き今年度もコロナ禍での厳しい学校生活となっていますが、校長先生をはじめ教職員の方々や保護者の皆様方のご配慮のおかげもありまして授業や部活動、規模縮小ではありましたが収穫祭などの学校行事が無事に出来たことに感謝申し上げます。また生徒たちも大変喜んでいます。限られた制約の中ではありますが生徒たちが旭川農業高校で学べる喜びと、大人になる楽しみを感じられたらと思っております。

いよいよ三年生は高校生活も終盤になり、就職や進学へ向けて本格的な時期になってきています。社会に出ればテストの様に点数では評価されません。「八風吹不動」順風であっても謙虚に生き、逆風であっても耐え忍ぶ。自分をしっかり持って目標に向かって頑張って欲しいです。

二年生、一年生はマスクを着けっぱなしの入学式から始まり、まだ皆の顔や名前がはっきり分らないままの生徒もいると聞いています。そんな中でもできる範囲で友達、先輩後輩の関係を深めて欲しいなと思います。高校生活を楽しむと同時に、将来なりたい自分になる為の時間であって欲しいと願っています。「柔軟心」素直で広い心を持てば視野が広がります。何事もやらない人間よりやる人間になって欲しいです。

私達ＰＴＡ・クラブ後援会の活動では、例年行われている会議や研修会等も開催されず、また学校祭の協力もできず皆様との交流の場が無かったことが非常に残念でなりません。いつか学校行事などの場を通じ、先生方や保護者同士の交流が出来る事を願っています。その際には情報の共有、ご意見等々お力添えを頂きながら共に活動していきたいです。

今後の学校生活でも、まだまだコロナウイルスの感染防止に徹底しなければなりませんが、生徒たちがより良い高校生活を送るために先生方や皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

最後になりますが、皆様方には今後ともＰＴＡ・クラブ後援会活動にご理解ご協力頂きますようよろしくお願い申し上げます。

御礼

校長　田村　弘樹

第５波が収束し十月から通常の学校生活へと戻り、あっという間に令和三年が終わろうとしています。保護者の皆様にはコロナ禍の中、感染症対策に配意しつつ、本校教育にご理解とご協力をいただいておりますことに御礼申し上げます。社会的な大きな変化により「新常態」が進むと、子ども達の心の不安も大きなものになります。旭農生一人ひとりが自分の能力を開花させ、さらに人とつながることで成長を実感できる学校にしていくためには、心の安心、安定、信頼が不可欠です。これまで以上に、家庭と学校との緊密な連携が必要と考えております。また、日常の感染予防対策については、レベル１とはなりましたが油断することなく徹底して参ります。今後ともご協力願います。

私事で恐縮ですが、子どものころテレビはまだ白黒でチャンネルも手回しの時代、当時は電話も我が家にはなかったと記憶しています。それから約五十年以上…当時は想像すらできませんでしたが、今や片手（インターネット）で瞬時に世界とつながる時代。ネットによる情報量は昔の四百倍以上。（これは十年前に言われていたことなので今ではもっとアップデートされていると思いますが…）IoTやAI、Society5.0の社会の到来など、テクノロジーの進化は様々な課題を克服していますが、私たち人間の心は解決できないように思います。

知識や資質・能力も大事ですが、意欲や生命力は基礎中の基礎です。いつの時代も、コロナ禍であっても「今を精一杯生きる力」が最も大切だと考えます。

厳しくも豊かな自然と保護者・地域の力に支えられ、いろいろな形で積小為大な生徒たちの取り組みが、実を結んでいます。無限の可能性と成長を秘めている高校時代。成長の元種を育て、花開き夢を実らす学年末につなげたいと考えております。今後とも保護者の皆さんお一人お一人と手を携えながら子ども達を育てて参りたいと考えておりますので、いろいろな機会に学校へ足を運んでいただいたり、疑問に思うこと等がありましたら遠慮せず学校にご連絡ください。

令和三年度　生徒会役員及び農業クラブ役員

◆新生徒会役員

会　長　菅原　悠空（２Ｍ）
副会長　舘岡　晴菜（２Ｍ）
副会長　工藤　天音（２Ｌ）
書　記　廣富あかり（２Ａ）
書　記　稲田　菜々（２Ｌ）
会　計　喜多　洸貴（２Ａ）
会　計　守實　絢香（２Ｌ）
監　査　小山夏那生（１Ｍ）
監　査　佐藤　小瑚（１Ｍ）
監　査　田中　聖一（１Ｌ）
保健安全委員長
　齊藤　幸音（１Ｆ）
風紀委員長
　林　憲蔵（１Ａ）
監　査　石田　凛花（１Ｍ）
監　査　木村　凛音（１Ｍ）
監　査　三島　悠斗（１Ｍ）

◆新農業クラブ役員

会　長　中井　明斗（２Ａ）
副会長　伊山　風哉（２Ａ）
副会長　郡　優夢（２Ａ）
書　記　中木海波音（２Ａ）
会　計　池田　雄基（１Ａ）
会　計　大向　裟姫（１Ｆ）

生徒会執行部▶

◀農業クラブ執行部

農業クラブ全国大会 平板測量競技会に参加して

森林科学科三年　狗飼　海斗

私は、十月二十七日に兵庫県で行われた農業クラブ全国大会の平板測量競技に出場しました。競技開始前に「要項では左回りと記載をしたが、右回りで作ってしまった。」と運営の方から謝罪があり、驚きを隠せず動揺してしまいました。ですが私たちは要項が出される前に、右回りでも練習をしていたため、三年間練習してきた自分や仲間を信じて競技に取り組むことができ、最後まで力を発揮することが出来ました。結果は優秀賞を受賞することができました。今年の大会式典はコロナ禍のため入賞者のみ会場へ入ることが出来るとなっており、式典会場へ入ることが出来ました。

今回優秀賞を受賞することができ、とてもうれしく、「高校三年間、平板測量を続けてきてよかったな！」と強く思いました。今までご指導いただいた先生方ありがとうございました。

日本学校農業クラブ全国大会出場者

プロジェクト発表会
Ⅱ類　大向　凛空（３Ｆ）
　　鈴木　碧依（２Ｆ）
　　野崎　潤也（２Ｆ）
　　矢内　琴音（２Ｆ）
Ⅲ類　大武　夢歩（２Ｍ）
　　高沢　稜太（２Ｍ）
　　宮本ひかる（２Ｍ）
　　長岩　愛子（２Ｍ）
　　澤井　絢音（２Ｍ）

平板測量競技会　優秀賞
狗飼　海斗（３Ｆ）
鈴木　皓大（３Ｆ）
北島　実奈（２Ｆ）
石田　大斗（２Ｆ）

農業鑑定競技会
農業　吉田　陽翔（３Ａ）
食品　石田　彩乃（３Ｍ）
森林　平松　広樹（３Ｆ）
生活　柿木　雪菜（３Ｌ）

秋季代議員会
式典旗手
中井　明斗（２Ａ）

令和三年度 旭川農業高校 ＰＴＡ研修会

令和三年十一月十七日（水）、第二回ＰＴＡ・クラブ後援会役員会終了後に本校を会場に令和三年度旭川農業高校ＰＴＡ研修会が次の通り実施されました。

農業科学科コース：
　お米のパッケージデザイン作成
　と商品作り
食品科学科コース：
　あったか旭川まん作り
森林科学科コース：
　レーザー加工体験他
生活科学科コース：
　ハーバリウムとプリザアレンジ
　制作体験

ＰＴＡ研修会は保護者の皆様方に生徒役として各学科を選んでいただき、普段、生徒たちが専門授業で学び身につけた技術を、生徒たちが講師となり授業を行いました。次年度も是非、多くの方々にご参加いただき、生徒たちの学びの深さや各学科の特徴等にふれていただければと思います。

全国農業高校収穫祭を終えて

農業科学科二年　伊山　風哉・郡　優夢

私たちは東京都で行われた農業高校収穫祭に参加してきました。収穫祭は二日間行われ、全国各地の農業高校が生産している農産物や加工品などを販売しました。

食彩フェアの前日には、北海道エリアの全六校が集り打ち合わせを行い販売方法や衛生管理について学習しました。販売前に生産物の破損・真空漏れなどの確認を入念に行いました。特に加工食品については衛生面に気を付けて確認作業を行いました。また、販売スペースのディスプレイ方法を学習し、お客様への宣伝方法について学習しました。販売開始前からブースの周りにはすでにお客様が集まっておりとても楽しみにしているようでした。販売が始まるとお客様に多くの生産物を手にとっていただき大人気でした。二日目もたくさんのお客様に来場していただき、無事すべての商品を販売することができました。

今回の販売会に参加し、東京では北海道の生産物は普段中々手に取ることが出来ずとても人気があることが分かりました。たくさんの方に購入していただきとてもうれしかったです。

一年ぶりに開催された食彩フェア

北海道ブースにて

文化部活動報告

演劇部部長

生活科学科三年　太田　愛子

三年間を振り返って、新型コロナウイルスによって練習時間が減ったり、合宿などのイベントができなかったりで制限された活動だったけれど、とても充実していて達成感のあるものだったと思います。今年の高文連は去年よりも活動が制限された中で行われ、なかなか練習ができず間に合うのか不安でしたが部員のみんなが協力してくれたおかげでよい舞台をつくることができました。私が部長になった時、本当に自分に部長が務まるのか、みんなをまとめることができるのかと思っていましたが、みんなが支えてくれたおかげで務められたと思います。最後に保護者の皆様、先生方の支えがあって私たちは活動することができました。本当にありがとうございました。

上川支部大会優良賞

書道部部長

生活科学科三年　小原　未鈴

私たち書道部は、三年生二人、二年生四人、一年生三人、計九人で活動しています。人数が少なく大変なこともありましたが、部員みんなの協力もあり、充実した活動になりました。八月に行われた高文連では、新型コロナウイルスの影響で、全体での講評や席書会はありませんでしたが、各高校の顧問の先生方に講評をいただくこともでき、良い経験になったと思います。三年生は全道大会に進むことができ、普段から支えてくださった先生方のおかげだと思います。様々なことに制限がかかる中、無事に高文連ができたことに改めて感謝したいと思いました。高文連後は、学んだことを生かして作品作りに取り組むことができました。来年は、旭川農業高校が当番校なので部長、副部長を中心に協力して頑張ってほしいなと思います。今年は、高文連以外の書道展で入賞することのできた部員も数名いたので、これから活動の幅が広がると思います。

熱心に作品に取り組む生徒

吹奏楽部部長

森林科学科二年　北島　実奈

高文連、吹奏楽祭、コンクール。新型コロナウイルス感染拡大の影響により去年中止になったものが、今年、ようやく開催され、高校生になって初めて参加することができました。

特に、私たちが一年間の活動の中で一番の目標としているコンクールでは、本番前に合宿を行い、マスクの着用や手の消毒等の感染対策を徹底し、短い時間ではありましたが、部員全員で心をひとつにし、自分たちのサウンドを追求しました。コンクールの結果は金賞。全道大会へは行けませんでしたが、今自分たちが持っている力をしっかりと出し切り、「旭農サウンド」を会場全体に響かせることができました。これからも引き続き練習に励んで参ります。

茶道部部長

食品科学科二年　松谷　愛音

私たち茶道部は、今年も新型コロナウイルスの影響で学校祭でのお茶会や護国神社で行われる研究会など、様々な行事が中止となってしまいました。しかし、その分日々の練習で部員それぞれが時間をかけて、自分のお点前に磨きをかけることができました。毎週水曜日には講師の先生にきていただき、より細かな指導をしていただいており、私たちも日々の成長を感じることができています。一日も早くコロナが収束して、学校祭などの行事で私たちのお点前を見ていただける時が来るまで一生懸命練習に励んでいきたいと思います。

写真部部長

森林科学科三年　狗飼　海斗

私達は今年度もコロナ禍で制限された中での活動となり、主に校内で技術向上に励んできました。高文連上川支部大会では、金賞一名、銅賞一名、入選四名、団体の部で三位。全道大会では、入選二名、佳作四名と出品した全員が入賞を果たせました。この一年間部長として、部員一人一人の技術が成長していくところを間近に見られとても充実していました。今後は大武新部長のもと、沢山シャッターを切って更なる技術向上を目指してもらいたいです。

全道大会　入選作品

鈴木（３F）題：熱が入る

舛田（３A）
題：パパ～こっち向いてよ

美術部部長

生活科学科二年　齋藤　陽向

八月三十一日から九月三日。今年も高分連がありました。この日に向けて、私たち美術部一同は夏休みを中心として、作品制作を行ってきました。私自身も今回の作品の制作には、自由や創造心という気持ちを表現しながら取り組んでみました。自由すぎて、構図に稚拙さを感じる方もいらっしゃると思い

ます。なので、好き嫌いが別れる作品だと思っていましたが、今年も入選し、全道大会に出品できたこと、大変光栄に思います。

あれから三か月。美術部の活動は、団体競技ではないため来年の高文連までに今からどれだけスキルを上げることができるのかは、自分自身の強い意志と努力が鍵だと思っています。私は、最近学年が上がっていくにつれ絵を描く機会が減ってしまっている状態なので、まずいと思い、時折人物デッサンを行っています。来年は人物画にしようとすでに考えています。人の顔や衣服のしわを描いたりと、考えながら描くのは、楽しくて好きです。現実に囚われすぎず、かといって現実離れしすぎない作品を描くのが理想なので来年まで頑張り続けていきたいです。

全道出展　絵画・油彩
題名　Power to live

自然科学部部長

農業科学科二年　豊増　史悠

自然科学部は、今年度良い実験を行えなかったため高文連には出場していません。

自然科学部の活動内容は、サンショウウオを幼生の頃から飼育し、飼育密度を変えることによって成体にどのような変化が起きるのか。また、カブトムシの幼虫では、飼育するマットの違いによる成長の違いを調べています。途中で幼虫を飼育しているマットから、コバエが大量発生したりして、マットを容器に分けて冷凍庫に入れコバエの卵や幼虫を死滅させました。

来年度の高文連に向けて、これからも生き物がより良い環境ですめるように整え、生き物の飼育環境による違いで成育過程にどのような変化がみられるのかを調べていきたいと思います。

放送局局長

生活科学科二年　澁谷佳菜乃

今年度、放送局は数年ぶりにNHK放送コンテストと高文連放送コンテストに参加しました。そのうち、高文連では個人・番組ともにエントリーし、オーディオメッセージ部門（ラジオドキュメント）で二位に入賞、全道大会へ進出することができました。北見市で行われた全道大会では各地区から選ばれた作品を見聞きし、私たちの作品の良いところや反省点も見つけることができました。残念ながら、全道大会での入賞は叶いませんでしたが、仲間の大切さや一つの作品をつくる大変さを学ぶことができました。来年度のNHKコンテストでは、今回の反省を活かし、より上位を目指せるように取り組んでいきたいと考えています。

図書局局長

食品科学科二年　今　洋知

今年の図書局の活動は、昨年度開催されなかった高文連へ参加したり、クリスマスに、図書室を装飾したりするなど、昨年度取り組めなかった行事、企画に取り組むことができました。高文連では、旭川大学へ行き、図書館バックヤードツアーとして、普段立ち入ることのできない図書館の裏側を見学させていただくなど、充実したよい機会となりました。また、クリスマスの時期に合わせ図書室の装飾を行いましたが、皆さんに喜んでいただき、企画してよかったと感じました。

ボランティア局局長

食品科学科三年　大城　璃音

私達ボランティア局は今年度も昨年度に引き続き、コロナの影響で思うような活動はできませんでした。ですが、その中でも赤い羽根共同募金の街頭募金活動に参加したり、生徒玄関前に募金箱を設置したり、国際ソロプチミスト旭川様のご支援を受けて活動を行うことができました。赤い羽根共同募金での街頭募金ボランティアには局員五名が参加し、校内に設置した募金箱には一五五〇円が集まりました。昨年は一三二〇円でしたので募金額も増え、旭農生のボランティア精神が身についてきたことを実感しました。この活動は今年、北海道共同募金運動功績者として表彰を受けました。

また、国際ソロプチミスト旭川様との連携活動として、ガールズサミットへの参加や交流会に参加させていただき、世代を超えた交流をすることで視野を広げ、学びと奉仕の心を向上させることができました。

その他にも東神楽町のエンジョイ探検隊の交流ボランティアにも参加して、コロナ禍でもできる地域の活動に参加しています。

収穫感謝祭を終えて

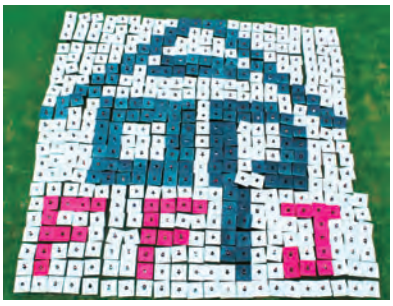
農業科学科二年　中井　明斗

十月六日。旭農では収穫感謝祭という大イベントが開催されました。

収穫感謝祭とは、今年の豊作に感謝をするお祭りのことです。例年では、旭農の作物を使い、クラス内で創作鍋を作ったり、もち米（風の子もち）で、餅つきをしたりしています。ですが、今年は、コロナ禍の中での開催となったので、料理に関することができませんでした。そこで、私たち執行部はレクリエーションを増やし、収穫祭を楽しんでもらおうと考えました。

レクでは、全校生徒で作り上げる人文字やクイズ大会などを行いました。また、旭川市で有名なクレイジースパイス様にお願いをして、全員分の旭農特別カレーを作っていただきました。人文字は「命」、クイズ大会は鑑定競技風にするなど農業高校の特色に合わせて行いました。いつもとは違う収穫感謝祭だったのでクラブ員からは「楽しかった」、「カレーおいしい！」などと言葉をいただきました。

新しいことに挑戦して不安だったけど、成功してよかったです。



全校生徒＋教員による人文字

クレイジースパイス様